

地域医療連携室 NEWS

平成 26 年 6 月発行 第 30 号
医療法人札幌清田病院 地域医療連携室

第 35 回地域健康セミナーを実施しました！ 「緩和ケア病棟(ホスピス)ってどんなところ？」

平成 26 年 5 月 22 日 (木) 14:30~15:30 当院 2 階会議室にて

看護師長の田熊裕美と医療ソーシャルワーカーの福澤公美を講師として、地域健康セミナーを開催しました。

28 名の方にご参加頂き、ありがとうございました。講演のダイジェストをお伝えします★

緩和ケア病棟(“PCU”“ホスピス”ともいいます)を「がん治療のできない患者さんが入院して、苦痛に耐えながら、ただ横になって死を待つところ」「二度と外へはでられない病棟」と思われている方が意外と多くいらっしゃるようです。テレビやマスコミでは、そのように描かれていることが多いので仕方のないことですが、本当はそうではありません。

緩和ケア病棟は「がんによって生ずる、こころとからだのくつらさ・苦痛」をやわらげ、何よりも患者さんとご家族が「その方らしい日々」をすごしていただけるようにご支援をさせていただく病棟です。

腫瘍に対する治療は行いませんが、患者さんの苦痛を和らげたり取りのぞくことを目的とした輸血・酸素吸入や薬剤などの治療・検査は積極的にを行いながら、患者さんとご家族がご自身の時間を、主体的かつ積極的に過ごしていただくことを支援(ケア)させていただきます。

痛みのコントロールがつけばもちろん退院は可能ですし、入院中の外出や外泊も、主治医と相談しながら実行しましょう。それがその方らしいひとときであるならば、何よりも大切にしたいことだと私たちは考えるからです。

患者さんとご家族は、治療や闘病・療養にまつわるご苦労をすでに十分されておられます。これ以上のご苦労や面倒を少しでも軽減できるお手伝いが出来れば…と、そう思います。

緩和ケアについて“わからない”“もっと知りたい”など、ご意見やご質問などがありましたらお気軽にお声掛け下さい。

患者さんとご家族にとってのより良い医療を、共に考えさせていただきます。

次回は、平成 26 年 7 月 10 日 (木) 『快便な生活のために～下痢と便秘のお話～』をテーマに、消化器内科 副院長 村松 博士より、お話をさせていただきます。皆様のご参加お待ちしております。



平成 26 年 6 月発行 第 30 号

〒004-0831 札幌市清田区真栄 1 条 1 丁目 1-1 地域医療連携室

電話 011-883-6111 (代表) 011-883-6114 (直通)

発行責任者：医療法人札幌清田病院 地域医療連携室室長 井原康二 (副院長)